

令和7年産 JA米 乾田V溝直播栽培こよみ(コシヒカリ)

～移植と直播の組み合わせで作期分散！機械・施設を有効利用～

あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

※肥料・農薬名は農協の推奨品目です

収量構成要素

構成要素	目標値
10a当たり収量	540kg
m ² 当たり穂数	340本
1穂粒数	80粒
m ² 当たり粒数	27,000粒
登熟歩合	85%
玄米千粒重	23.5g

播種量・施肥量の目安

土壌区分	施肥量 (kg/10a)	播種量 (kg/10a)
沖積	砂壤土	23kg
	壤土	21kg
	埴壤土	21kg
洪積土壌	23kg	乾籾 6~8kg
復元田	25~28kg	



播種・施肥作業



播種後3日までに
通水処理で
出芽・苗立ちを
促進しよう！



出芽・苗立
(除草剤②のタイミング)

生育期の目安

播種時期	出芽期	幼穂形成期	出穂期	成熟期
4月中旬	5月18日	7月20日	8月12日	9月22日
4月下旬	5月23日	7月23日	8月14日	9月27日
※移植 コシヒカリ	5月15日 田植え	7月10日頃	8月3日頃	9月10日頃

カメムシ対策の為、収穫後も畦畔雑草を処理しましょう

作業の後は忘れず正確に記録しつけておきましょう

◇種子処理剤で病害虫防除◇

種子処理の手順

- 種籾・器具・薬剤の準備**
種籾、計量カップ、攪はん棒、種子処理剤(処理量は右参照)、種子被覆材(ペリディウム)、種子コーティング機(コンクリートミキサー)
- 種子処理剤を計量、混合する**
計量カップにそれぞれの種子処理剤(3剤)と種子被覆材を計量し、均一に混ぜるまで攪はんする。
- 薬剤の投入**
種子コーティング機に種籾を投入し、中心部にくぼみを作り、そこに薬剤を規定量投入し、薬剤の上に種籾を被せる。
- コーティング機の回転**
コーティング機を回転させ、薬剤を均一に付着させる。
- シート上に広げ、風乾する**
シート上に処理済み種籾を広げ、24時間以上通風乾燥する。乾きやすい様に薄く広げる。乾燥後の種籾が固まっている場合は、ほぐす。

いもち病対策
農薬名:ルーチンシードFS
使用量:8mL/乾籾1kg

紋枯病対策
農薬名:エバーゴルスードFS
使用量:5mL/乾籾1kg

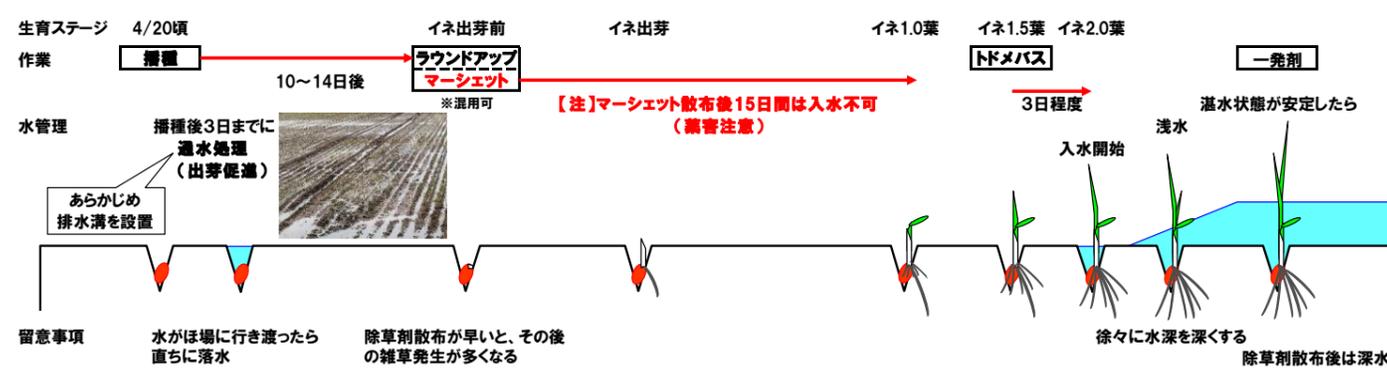
初期害虫対策
農薬名:ヨーバルシードFS
使用量:6mL/乾籾1kg



十分に乾燥した後は低温庫で保存可能なので、冬期間の処理がおすすめです。

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
水管理							好天が続く場合は通水		中干しは行わない		湛水管理	落水:収穫3~4日前			
栽培管理のポイント	ほ場の準備 ○畔塗り(漏水防止) ○土壌改良資材散布 ○耕起・代かき ・代かきは均平を心がけ、わらや稲株を確実にすき込む。 ・代かき後、大きな水たまりがなくなった頃に排水溝を設置し、ほ場の乾燥に努める。 ・品質向上のため、必ずケイ酸質資材を施用し、地力に応じて堆肥を施用する。 ケイ酸質資材:60~100kg/10a 堆肥:1~2t/10a ・基肥に含まれないリン酸・カリは、代かき前に施用する。 PKケイ酸:40~60kg/10a			播種 ○種子処理 ○播種・施肥作業 ・播種時期:4月中旬~下旬 ・トラクターのわだちができない程度には場が十分に乾燥した状態で播種する。 ※播種後3日までに必ず通水処理を行い、出芽を促進する。(通水後は速やかに排水する)			出芽安定・除草 ○通水処理(播種後3日までに) ○除草剤①散布 ○除草剤②散布 ○除草剤③散布 ・雑草の種類に応じた除草剤を選び、遅れずに散布する。 ○畦畔・農道等の草刈の徹底 ○随時防除(穂ばらみ期) 防除間隔は7日(10日以上開けない) 本田防除剤は移植と同一です			基本・随時防除 基本防除(穂揃期) 随時防除(カメムシ常発地・多発時) 穂揃期と傾穂期でカメムシ防除を徹底		適期収穫 落水は急がない (刈遅れによる胴割米の発生防止) ○籾黄化率85~90%を目安に適期刈取の実施		作付計画 ○品種を作付 ○漏生籾による混種を避けるため前年と同一 ○入水後の水持ちの良いほ場 ○強粘質田は避ける ○播種時にほ場が乾く排水良好田 ○冬期代かき用水が確保できる地域	

播種後の水管理と除草体系(イメージ)



除草体系

時期	除草剤名	薬量(10a当たり)	散布水量(10a当たり)	備考
①出芽前(は種後10~14日後)	ラウンドアップマックスロード	200~500mL	25~50L	周辺田への飛散に注意
	マーシェット乳剤	1,000~1,500mL	25~50L	雑草発生前、入水15日前まで
②入水直前(イネ1.5葉)	トメバスマF液剤	1,000mL	100L	散布後3日間は入水しない
	ベツカク粒剤	1kg		稲1葉~、ノヒエ3.0葉まで
③入水後	ゼータタイガージャンボ	300g(10パック)		稲1葉~、ノヒエ3.0葉まで
	プライオリティジャンボ	250g(10パック)		稲出芽揃期~、ノヒエ3.5葉まで
(雑草が残った場合)	レプラス粒剤	1kg		稲2葉~、ノヒエ4.0葉まで
	レプラスジャンボ	400g(10パック)		稲2葉~、ノヒエ4.0葉まで
	ウィードコア粒剤、ロイヤント乳剤、ハサグラン粒剤・液剤、トメバスマF液剤、トメMF粒剤・乳剤等			

栽培記録	区分	ケイ酸質資材・肥料名	施用年月日	施用量	本田管理(作業開始日)	耕起	月	日	代かき	月	日	播種日	月	日	区分	農薬名	処理・散布年月日	散布量	
						通水	月	日	落水	月	日	刈取日	月	日					
土づくり	基肥		月 日	kg/10a	除草										病害虫防除	ルーチンシードFS	月 日	mL/種子1kg	
		追肥		月 日		kg/10a											エバーゴルスードFS	月 日	mL/種子1kg
				月 日		kg/10a												ヨーバルシードFS	月 日
			月 日	kg/10a														月 日	/10a
			月 日	kg/10a													月 日	/10a	
			月 日	kg/10a													月 日	/10a	

食の安全は栽培記録とGAPの確実な実践から